

「便利な移動手段は住民のQOLにどれぐらい貢献できるのか～さまざまな業種との連携による、お出かけモチベーション高揚の仕組みづくり。日本版 MaaS を介した社会課題解決へ チョイソコの取組み」

日時：11月8日(火) 16:50-18:35 (5限)

場所：国際学術総合研究棟4階SMBCホール
(対面授業にて開催)

公共政策大学院では、「地域交通政策研究」の授業において、下記のとおり、株式会社アイシン ビジネスプロモーション部長 加藤博巳氏 からお話を伺います。人口減少、更に大都市への人口集中により苦しい状況の地方交通。買い物・通院弱者と呼ばれる交通難民は既に 1000 万人を超えたと伝えられる中、状況はますます悪化しています。そこで新たな試みとして乗り合い送迎サービス、「チョイソコ」が企画されました。2018年に愛知県豊明市でスタートしたこのデマンド交通サービスは、実証に終わらず継続して利用いただくために、地元住民の方々のニーズ吸上げを行い、使い勝手の良さを重視、過度に ICT 化しないプラットフォームを構築するも、採算性の確保にはさまざまな課題が…。モビリティが提供できるさまざまなサービスを実装しながら異業種企業とのタイアップ、乗車数向上に向けた「コトづくり」への挑戦を通して社会保障費削減など、社会課題への取り組みを続けプロジェクトは5年目に突入しています。本講においては、現在は日本中に拡がりつつある、それでもまだ変化を続けるこの取り組みについて紹介し、受講生と議論を行いたいです。

履修登録者以外の本学学生の参加を歓迎いたします（使用言語：日本語、本学学生以外の一般の方は参加出来ません。）。

※資料はITC-LMSにおいて本科目を仮登録の上、ITC-LMSから入手して下さい。
授業開始の1時間前までを目途に掲示します。

－問い合わせ：交通・観光政策研究ユニット tppu@pp.u-tokyo.ac.jp－



**株式会社アイシン
ビジネス
プロモーション部長
加藤 博巳氏**